

第3回グループワークについて

○地域ビジョン(目指す姿)について

今回のグループワークでは、第3期市総合戦略にふさわしいと思われる地域ビジョン(目指す姿)について、2つの案からお選びください。

(要点)

- ・地域ビジョン(目指す姿)は、本市が抱える課題を明確にし、地域の特色や資源を活かし高めるために設定するものです。
- ・第2期市総合戦略 目指す姿「魅力と地域力を高め、住みたいまち・子育てしたくなる「まち」を目指す」
- ・第2期市総合戦略の評価は、「企業誘致や子育て支援策を始め、順調に進んでいる」「社会増が続いている」「これまでの取り組みを強化しつつ、多様な視点で社会状況を注視しながら、推進していくこと」
- ・第3期市総合戦略では、第2期市総合戦略をもとに、以下のとおり基軸となる施策を設定していく。
前回同様、基本目標1に「企業誘致」、基本目標2に「観光振興」を設定し更なる発展を目指す。基本目標3には「子育て支援」に「教育の充実」を追加することで子どもの成長を支える目標へと強化。
基本目標4にはつながりや支え合いを大切にしたまちづくりを目指す施策を設定。基本目標5には、インフラ関係等の地域基盤の強化や環境との調和を目指す施策を設定。
- ・グループワーク集約意見 1位「つながり」 2位「まちづくり」 3位以下「商工関係(企業誘致含む)」「観光関係」「インフラ」「移住定住関係」「子育て関係」「教育関係」「福祉関係」「コミュニティ」
- ・第2回グループワーク 地域ビジョン「つながる」「拠点」「新たな交流」「昔を取り戻す」「次世代へつなぐ」「楽しい」「住みやすい・住み続けたいまち」「活性化・活力あふれる」「選択肢がある」「創出」

案1

新たな交流がつながりを育み 次世代へつなぐ 住みやすいまち

「新たな交流」

南アルプス市で市内外の人々の新たな交流が生まれることを意味します。fumotto 南アルプスを中心に新たなつながりが広がり、地域が活性化します。

「つながり」

住民同士のつながりや、企業や地域団体とのつながり(連携)を強化・発展を意味します。企業や地域住民、行政が連携し、地域資源を活かした新たな事業や観光資源を産み出します。

「育み」

子育て支援や教育に力を入れ、地域全体で次世代を育てる環境を整えることを意味します。未来を担う若者たちにとっての大きな成長の土台を構築します。

「次世代へつなぐ」

南アルプス市のすべての要素(特色や地域資源)を活かし、持続可能な社会を構築し、次世代へと継承することを意味します。これには、生活するうえで必要となる基盤を揃え、だれもが不自由なく住みたいと思えるまちを構築します。

案2

次世代へつなぐ 活力あふれる 住み続けたいまち

「活力あふれるまち」

人々が集まり、交流し合うことで、よりよいまちとして成長していくことを意味します。これは、世代を超えたつながりを大切に、地域全体で支え合うことで、シビックプライドの醸成へつなげ、持続的に活力あふれるまちを目指します。

「住みやすい」

住民、企業、行政が協力し、地域課題を共有し、様々な意見やアイデアを反映させた政策づくりに努め、住みやすいと思えるまちとして戦略的に図っていきます。

「住み続けたい」

住民、企業、行政が協力し、地域課題を共有し、様々な意見やアイデアを反映させた政策づくりに努め、将来に亘って住み続けたいと思えるまちとして戦略的に図っていきます。